



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

上場会社名 株式会社淀川製鋼所
代表者名 代表取締役社長 國保 善次
(コード番号 5451 東証・大証 第 1 部)
問合せ先 経理部長 林 真生
(TEL 06-6245-1113)

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 21 年 11 月 6 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想と、平成 22 年 3 月期の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期連結業績予想と実績との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 131,000	百万円 1,000	百万円 1,700	百万円 △3,200	円 銭 △19.31
実績(B)	132,418	2,001	2,846	△3,296	△19.89
増減額(B-A)	1,418	1,001	1,146	△96	—
増減率(%)	1.1	100.1	67.4	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	194,601	5,138	6,612	1,419	8.57

2. 平成 22 年 3 月期個別業績予想と実績との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 85,000	百万円 1,000	百万円 2,400	百万円 △2,800	円 銭 △16.78
実績(B)	86,857	1,646	3,119	△3,040	△18.22
増減額(B-A)	1,857	646	719	△240	—
増減率(%)	2.2	64.7	30.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	117,644	2,282	4,415	1,609	9.64

3. 平成 22 年 3 月期業績予想と実績との差異の理由(連結、個別)

当社におきましては、製販一体となったコスト削減により、営業利益および経常利益は予想を上回る実績となり、また、台湾の子会社センユースチール社の業績も、販売価格の改善により予想を上回る実績となりました。

当期純利益につきましては、当社において投資有価証券評価損、一部設備の休止損失、廃棄物処理損失の計上等により、予想を下回りました。

以上